



冷泉荘

RENOVATION
MUSEUM
REIZENSOU

リノベーションミュージアム冷泉荘 60周年を迎えて

このたび冷泉荘はおかげさまで 60 周年を迎えることができました。人間で言えば還暦の節目である 60 歳は、現在の日本の建物にとっては人間以上にめでたい節目かもしれません。

税務署が資産として価値がなくなる目安として、鉄筋コンクリート造の耐用年数は 47 年とされる中で、耐震基準の問題や配管トラブルなど、ビル機能の低下を背景にした、ビルの利用価値の経年劣化が、ビルの長期維持に問題を引き起こします。

一方で、メンテナンス状況が良ければ、コンクリートは 100 年は超える耐久性があるとの知見が最近では出てきているものの、なかなか 50 年を越えてビルを運営することは事業的に難しい状況にあります。

その中で、民間ビルでありながら築 100 年を目指す「リノベーションミュージアム冷泉荘」は、古き良きビルをまちの人たちのために使う、これからの「ビルストック文化」の象徴とも言えるのではないかと思います。

これから、あと 40 年。皆さまが歳を取られるのと同様に、冷泉荘も齢を重ねて参ります。歳をとるほどに元気になっていく冷泉荘を見ていると、建物から私たちが元気をもらえることもありそうです。

そんな目で、これからも熟成していく冷泉荘を見守って頂けると幸いです。

吉原住宅 / スペース R デザイン 代表取締役 吉原勝己

名入れスリッパ制作

ニッポンスリッパ株式会社



NIPPON SLIPPER CO.,LTD.

名入れタオル制作

NISSEN SHOKO



日織商工株式会社



スリッパ名入れ 作業風景

